

## 第18回 秩父宮記念スポーツ医・科学賞

### 秩父宮記念スポーツ医・科学賞「奨励賞」の受賞について

本学教育学部の春日晃章教授が、第18回秩父宮記念スポーツ医・科学賞「奨励賞」を受賞しました。3月23日(水)にグランドプリンスホテル高輪にて表彰式が行われ、公益財団法人日本体育協会の張 富士夫会長から賞状、盾を贈呈されました(主催:日本体育協会、後援:文部科学省・日本オリンピック委員会)。

本賞は、スポーツの宮様として親しまれた故秩父宮殿下と同妃殿下のご遺言によりご遺贈金をもとに基金を設立し、スポーツ医・科学分野を対象に創設(功労賞と奨励賞)されたものです。奨励賞は、スポーツ医・科学についてよく研究し、その研究成果を十分にスポーツ現場に生かし、我が国スポーツの普及発展及び競技力向上に顕著な実績をあげた者に授与されるものです。

今回の受賞対象となったのは春日教授が主要なプロジェクトメンバー委員を担っている「アクティブ・チャイルド・プログラム普及啓発プロジェクト」です。本研究プロジェクトは、身体活動量の減少により心身への影響や、からだを操作する能力の開発などの新しい視点から実態調査・分析を行い、その結果に基づいて子どもを取り巻く環境要因へ働きかける方法を提案することを目的としています。

具体的には同研究の第一段として①基礎的動き・動きの評価方法に関する調査研究、②身体活動量に関する調査研究、③子どもの体力向上実践事業モデル地域に関する調査研究、④各種スポーツクラブに関する調査研究を行いました。その研究結果を踏まえ、H22に「アクティブ・チャイルド・プログラム」を制作し、ガイドブックやDVD教材としてまとめ、H25より「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」を制作し、全国各地で指導法や指導技術に関する講習会を展開中です。

このような広範囲にわたる基礎調査・研究から実践指導までの取り組みが、体力の二極化が進む子ども達のころ、からだ、動きを総合的に発達、改善させる有益なものであると高く評価され、今回の受賞に到りました。

なお、本件については、日本体育協会からも平成28年3月24日付けで発表されております。(参照:<http://www.japan-sports.or.jp/index/tabid/36/Default.aspx>)

#### 【問い合わせ先】

岐阜大学教育学部 保健体育講座

教授 春日晃章

Tel:058-293-2286(研究室直通) 携帯:090-4081-5956

E-mail:kasuga@gifu-u.ac.jp



氏名 <sup>かすが こうしょう</sup>春日 晃章 (47歳)  
現職 国立大学法人岐阜大学 教育学部 教授

#### 学位

平成 5年 3月 修士 (教育学) 【教修 第 269号】  
平成 12年 3月 博士 (医学) 【医博 乙 第1242号】

#### 学歴

昭和62年 3月 岐阜県立岐阜北高等学校卒業  
平成 3年 3月 金沢大学教育学部高等学校教員養成課程 (保健体育) 卒業  
平成 5年 3月 金沢大学大学院教育学研究科 (保健体育専攻) 修了  
平成 6年 11月 岐阜大学医学部 (衛生) 研究生 (～平成12年3月)

#### 職歴

平成 8年 8月 岐阜聖徳学園大学短期大学部 専任講師  
平成14年 4月 岐阜聖徳学園大学短期大学部 准教授 (～平成19年3月)  
平成15年 8月 インディアナ (INDIANA) 州立大学 客員研究員 (～平成16年7月)  
平成19年 4月 岐阜大学教育学部 准教授  
平成20年 4月 岐阜大学保育園 園長 (兼任)  
平成28年 4月 岐阜大学教育学部教授 (現職)

#### 賞罰

平成13年 12月 東海体育学会 学術奨励賞  
平成22年 8月 日本教育医学会 学会賞  
平成23年 3月 日本発育発達学会 最優秀研究賞

#### これまでの研究業績概要

これまでの主たる研究は、保健体育の測定評価学および発育発達学分野に関する諸現象に関して、その測定法の開発、各種測定調査、実験的指導、多変量解析を含む統計分析を適宜用いながら客観的かつ数量的に明らかにするものである。氏の研究の対象と目的別に大別すると以下の五つに分類することができる。

①発育発達期における体力・運動能力特性とその関連要因に関する研究、②水泳の指導法および泳動作に関する研究、③高齢者の体力および生活習慣に関する研究、④様々な分野における各種測定方法、測定器具の開発、⑤運動能力を向上させるための効果的な運動プログラムの開発。なお、これらの研究に関して、研究論文 144 本、著書 22 本にまとめ、その成果を発表してきた。